

## 吉野小学校最後の運動会 「さようなら吉小」航空写真を撮影



6月13日、今年度で閉校する吉野小学校の運動会で、閉校の記念誌に使用する航空写真の撮影を行いました。

グラウンドに石灰で書いた「さようなら吉小」の文字を児童や父母、地域住民ら約200人が取り囲み、飛行機に向かって手を振りました。航空写真の撮影は、記念誌を担当する同校閉校記念事業協賛会が企画。同会メンバーでもある小枝順一さんがセスナ機を操縦しました。

グラウンドに書かれた「さようなら吉小」の文字（下）上空を巡回するセスナ機に向かって、元気いっぱい手を振り歓声を上げる児童（右）



## 青空が広がる絶好の運動会日和 児童ら元気いっぱいグラウンドを走り回る

6月6日、浦幌・上浦幌中央・常室・厚内小学校で運動会が行われました。

開校100年を迎えた浦幌小学校では、午前9時に開会式を開き、工藤校長の後、児童会長の小路谷紗希さんが、全員の力を出し切り開校100年の運動会を成功させましよう」とあいさつしました。

児童らは、大玉ころがしや綱引きなど、一生懸命競技に取り組んでいました。



開校100周年を記念した組体操

## 自学自習講座制度を活用 シフォンケーキなどを焼きあげる

6月17日、ボランティアグループ「吉野ラポール婦人会（松原賀子会長）の会員が、吉野公民館で手作りケーキ講座を開きました。

同講座は、町教育委員会の自学自習講座の制度（講師の謝金などを助成）を活用して行われました。

会員らは、町内に在住する大西志津枝さんの指導を受けながらシフォンケーキなどを仕上げました。参加した主婦は、「思っていたより簡単にできました。自宅で挑戦します」と話していました。



焼きあげたシフォンケーキを切り分ける講師の大西さん

## マナーを守って!! 厚内郵便局員がボランティア清掃

6月20日、厚内郵便局(菊池秀司局長)のボランティア清掃が厚内地区で行われ、局員と家族7人が参加しました。

郵便局を利用する地域住民への感謝の気持ちを込め、漁港や防波堤、道々直別共栄線などを清掃しました。空き缶やペットボトルなどのごみが、ポリ袋(45リットル入り)8つが集まり、参加者は「ごみは持ち帰るといふ最低限のマナーを守ってほしい」と訴えています。



ごみを拾い集める職員とその家族

## 戦没者を追悼し 恒久の平和を新たに誓う

6月25日、平和祭が行われ、遺族ら約120人が参列しました。八木町長の式辞や水澤町議会議長の追悼の言葉の後、参列者ひとり一人が白菊を献花しました。

最後に浦幌高校生徒会長の白木直人さんと同会計の川畑友二さんが「他人を思いやる気持ち、自分をコントロールする強さが必要。全ての人々が幸せに生活できるような身近な平和づくりに努めます」と平和の誓いを述べました。



平和の誓いを述べる浦幌高校白木生徒会長と川畑会計

## 創作バレエ「夕鶴」優雅なバレエと 躍動感あふれるヒップホップが融合

6月26日、浦幌バレエ研究所(内杉悦子代表)の発表会が、総合スポーツセンターで開かれ、約40名の研究生等が日頃の練習の成果を発揮しました。

発表会はチャリティとして行われ、集まった募金は町社会福祉協議会などに寄贈。バレエやヒップホップなどの小品集と民話

「鶴のおんがえし」を表現した創作バレエ「夕鶴」の2部構成で行われ約300人が来場しました。



観客を魅了した「夕鶴」

## 火災訓練を実施 本番さながらの緊張感で訓練に臨む

6月27日、浦幌消防団の連合演習が行われました。小隊訓練や消防操法などを行った後、役場庁舎が着火した想定で火災訓練を実施。

訓練は、役場庁舎1階の給湯室から出火、火は延焼拡大し取り残された来客者が骨折するなどの想定で行われました。

来客者が町職員

の誘導で避難した後、消防車両などが次々に現場駆けつけ放水消火を実施しました。



負傷者を救出する消防団員